

レクトラ・ジャパンが神戸にカットングラボを開設

クラウド型裁断ソリューション「レクトラ・ファッション・オンデマンド」 が業界のカスタマイズ生産をサポート

2020年7月2日 大阪 - レクトラは、カスタマイズ生産専用のレクトラ・ファッション・オンデマンド(クラウド型裁断ソリューション)の、テストカットやデモンストレーションを実施するカットングラボを神戸に開設しました。

レクトラ・ファッション・オンデマンドは、オーダーから裁断までのプロセスを自動化して、複雑な柄付きのデザイン生地も自動で高速かつ高品質に裁断します。

これまでのファッション業界のサプライチェーンモデルは非常に不透明で、断片化し、消費者の多様なニーズに迅速に対応できていませんでした。コロナ禍により、従来のビジネスモデルの弱点があぶりだされ、多くのファッション・アパレル企業がデジタル変革へと大きく舵を切らざるを得なくなりました。また、大量生産により売れ残った多くの商品が廃棄され、地球に大きな負荷をかけています。

レクトラ・ファッション・オンデマンドは、クラウドのデジタル裁断プラットフォームと1枚裁ち自動柄合わせ裁断機Virga(ビルガ)で構成されており、オーダーの受注から裁断までの作業プロセスを自動化します。このレクトラの最新版ソリューションは、ファッション企業がオーダーメイドやパーソナライズ商品の投入や拡大を行う際の課題の解決をサポートするために開発されました。

本ソリューションを導入したTALアパレルの社長兼CTOであるDelman Lee氏は、「当社は、メイドトゥメジャーのビジネスの拡大を計画しており、増え続けるオーダーやパターンのサイズ調整などを管理する必要がありました。同時にマーカの向上や柄合わせの正確性も求めていました。当社は、オーダーから裁断に至るこのような複雑なプロセスを管理するソリューションを必要としていました。レクトラに出会えたことは本当によかったです」と語っています。

レクトラ・ジャパンの代表取締役の田中昭彦は「今回神戸市からのご協力もいただいて、このカットングラボの開設ができたことを大変うれしく思います。ファッション業界のお客様にとってデジタル化、IoTの活用、インダストリー4.0への移行というのは取り組まなければいけない課題であると認識しつつも、なかなか実感のわからない世界だったのではないかと思います。特に製造の現場のデジタル化というのはまだまだ遠い世界だと思ってしまうかもしれません。このラボはそんなファッション業界の、モノづくりにつながるデジタル技術の今をリアルに体験・体感することのできる場になると信じておりますので、一人でも多くのお客様に足を運んでいただきたいと思っております。」と述べています。またカットングラボについては、「ファッション業界向けだけでなく、家具業界や自動車業界に向けても包括的な提案やデモンストレーションを提供する場所として活用する予定です」と述べています。

今後レクトラ・カットングラボでは、カスタマイズ生産に関するセミナーの実施や、プライベートテスト裁断、デモンストレーションなどを定期的に行う予定です。



ソーシャルメディアでレクトラをフォロー



レクトラ・カッティングラボ

兵庫県神戸市兵庫区和田山通1-2-25
神戸ものづくり工場 B棟504

アクセス:

JR「兵庫駅」より徒歩約15分

地下鉄海岸線「御崎公園駅」より徒歩約8分

レクトラについて

ファッション・アパレル、自動車内装、家具、その他の業界の企業に対し、レクトラのサービスはブランド、製造業、そして小売業のお客様のデザインから生産までをカバーし、信頼と安心をお届けします。レクトラのサービスはブランド、そして製造業のお客様のデザインから生産までをカバーし、信頼と安心をお届けします。1973年に設立されたレクトラは、現在、世界に34の支社を設け、100か国以上のお客様にサービスを提供しています。2019年のレクトラの従業員数は1,800名以上、売り上げは2億8,000万ユーロでした。レクトラはユーロネクスト(LSS)に上場しています。

詳細については、www.lectra.com/ja (日本語)もしくは www.lectra.com (英語)をご確認ください。

この資料に関するお問い合わせ先:

レクトラ・ジャパン株式会社 マーケティング部

担当: 山本、加島

電話: 06-4964-1251

Eメール: marketing.japan@lectra.com